磐城毎日
社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市南町
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷人　遠藤孝倫
發行人
電話（平）一二一〇番

土木建築設計請負
磐城土建工業株式會社
社長　強口唯七郎
平市小太郎町
電話五九・二八二・一〇三四番

再度の取調べを注視

平市第一小學校建築不正事件

山本（檢地）檢事員相糾明へ

四年振りで再燃した市内第一小學校新築にからむ不正事件の告發問題は福島地檢山本次席檢事が自ら來平、廿六日以來四日間に亘り當事同工事に關係した元平市庶務課長上野忠重（現保險課長）氏ら初め十數名にのぼる關係者を召喚、平地區ろまで進展するものと見られ、檢察當局の動きを注目り行きは事平市の中樞人物にまで及ぶ事件として市民の注目を引いてゐるが、廿の扉等の余興があり一日には同校の体育祭があり日頃の訓練の見せ所と校庭狭しと乱舞する事だらう本年卒業生の參加もあり盛會を豫想される

四人組ケーブル線泥送檢

磐崎村湯台堂駒木根飯場土工市川竹男（二八）同藤澤陸男（二八）同茂垣隆久（二三）同大島登（二三）の四名は共謀して去月常磐炭鑛磐崎坑撰炭場構からケーブル線十米、二十貫時價二万円相當を窃取、湯本町傾城朝鮮人季道律に賣った容疑で湯本町署で取調べ中のところ廿九日身柄とも送檢された

小名高運動會

小名濱高校第三回秋季運動會は一日午前九時から同校々庭に開催する一般の來會を希望してゐる

山本次席檢事談

現在誰と誰を何人呼び出逃亡した、平市署で犯人嚴して調べたと言うことは言えない、今日は主に市會の人達に來てもらつて事情を聽く、事業關係者の聽取を主としたので主要人物の召喚はやつてゐない、今日（廿九日）午前中で一と先づ或る用件のため歸廳する、現ざいは取調べの段階にあるので詳細の發表は出來ないと語つて居り二日頃再び取調べを續行することになつてゐる

教組支部の協議會

教員組合平支部では一日午前九時から平盲啞學校で市内各小中學校教員および各校PTA會長等の出席を求めて署名運動について、執行委員（支部長）の報告會を行う、なほ當日は氏家縣教育委員、本部大平情宣傳部長等も臨席する

營林署長官舎又賊入る

廿八日午後二時から四時の間に市内六間門平營林署長勅使河原美則（五）氏宅に賊侵入、女物衣類十二點、時價一万四千円相當を窃取、

磐高文化祭

余興澤山で人氣

磐高の文化祭は卅日午前九時より同校に開催する研究材料の展示會、演劇、余興と盛り澤山に前人氣を呼んでいるが十七研究班の展示會、演劇、ノド自慢、二十

大藏省査定に關心

港灣對策小名濱で躍起

小名濱港灣修築費廿六年度の豫算が編成期を控へて居るので全面的に明年度豫算に編入さる樣に運動が必要たと云うので港灣對策委員會を町會議室に開いた席上小名濱港灣修築事務所長青島氏の談話によると内防波堤三百米の築堤費、沖防波堤の延長百米築堤費、三千屯岸壁前方の暗しよう取除き工費等約二億三千万圓程度であつて、これが大藏省の査定がどうなるかが問題である、昨年度全國的の港灣修築費は卅六億圓であつて其の割當が一千三百万圓である例から見ると本年度が廿二億圓だとせば其の割當が或は三千万圓程度であるとは小名濱町としては當然額を豫算化するには六ケ敷いとしても内防波堤位は割當額に編入させたいと祈つて居る、即ち六千万円程度である、そうすれば明年度は其の完成を俟つて機帆船の避難にも役立つて商船の入港が安心出來るわけ果となり、工事の施行上にも非常に有利なわけ果を迎え得る事が確信出來るのであるとつぶを切つて完遂する市内一丁目では今年もそのトツプを切つて五千八百九十円の割り當に對し割り當額を突破し廿九日朝市社會課に持込み完遂の一番名乘りを擧げた

〃〃〃〃〃通信教育懇談會

卅日午前九時より平商高に

火災予防週間八日から

學童自轉車宣傳隊出動

來月八日から全國一齊に開催される防火週間に平消防署では二十八日午後一時から市公會堂に各學校、各區長、防火班長など百余名の參集を求め防火週間實施大綱を協議のけつ果左の如く決定、防火宣傳に務めることになつた、八日午前署内諸準備、午後同、九日學童球場で行ふ、組合せは次の通り（但し一回戰だけ）

△市營球場、オール勿來—平エレハント、常磐B—吳羽化學、オール内郷—古河炭礦B、日本水素—全江名△平工球場、古河炭礦A—常磐鹿島、平MBM—大昭炭礦、江名漁業會—大日本炭礦、全小名濱—オール湯本（但し二日目は平商球場）

（廿九日現在）

讀賣磐城豫選

卅日三球場で

讀賣軟式野球磐城豫選の主將會議は廿八日午後一時から石城スポーツ連盟で開き組合せを決定した、試合は卅日、一日の兩日午前九時より市營、平工、平商の三町で行ふが郡下より代表二チームを送る

赤い羽根割當突破

一番名乘りは一丁目

國民助け合い運動の赤い羽おいて通信教育普及懇談會根共同募集の平市に於ける各區の割り當てに對し毎年度であつて、これが大藏省の査定がどうなるかが問題である、昨年度全國的の港灣修築費は卅六億圓であつて其の割當が一千三百万圓である例から見ると本年度が廿二億圓だとせば其の割當が或は三千万圓程度でなを突破し廿九日朝市社會課に持込み完遂の一番名乘りを擧げた

草野に窃盗二件

地區署犯人捜査中

草野村泉崎農猪狩仁三（五〇）さん方では廿五日午前四時ころ表入口から賊侵入、十

商狀、經濟欄

【鮮魚】廿九日現在卸値（單位貫）

かつを	三五〇—三三〇円
	三〇〇—
かながしら	二五〇円
かれひ	二〇〇—一八〇円
さんま	三八〇円
まこ	三八〇円
むし	三五〇円
やなぎ	三五〇円
ほうぼう	三五〇円
ひいら	三五〇円
いか	一八〇円
さつまあげ	一三〇円
	二五〇円

市況—入荷少く人氣惡しさんまは中の作港に水揚げ

【青果市況】丸ヤ市場

なす	三〇—四〇円
きうり	七五—五〇円
ねぎ（小束）	一二—九円
玉ねぎ	六五—三五円
ごぼう	一三〇—一〇〇円
人參	一八〇—一二〇円
大根	三八—一五円
大根葉（一把）	三円五十錢
菜類（一把）	四—二円五十錢
里いも	八五—六五円
さつまいも	五〇—四〇円
やまといも	二五〇円
葉しようが	一七〇円
枝豆	六五円
みようが	一五〇円
くり	二〇〇—二八〇円
柿	八〇—五〇円
いちじく	一五〇円
梨（長十郎）	一三〇—六〇円
ブドウ	三〇〇—二〇〇円

龍田鑛も賃金未拂

會社の不誠意で法廷へ

去る四月經營不振から賃金その他二千六百三十万円の未拂のまゝ解散を宣言、成行を注目されていた龍田炭鑛は其の後組合側より再三にわたつて未拂賃金問題の交渉を行つたがらちあかず去月卅一日組合大會を開き役員改選を行つた後最後の交渉をしたが結局會社側の不誠意が明かなので廿九日川崎組合長、田淵書記長、金野會計の代表が磐城炭鑛平勞働組合を訪れ最後の斷として法廷闘爭をする旨を協議決定した

文藝欄

「追想」

アラームスの歌曲靜かに流れ來ぬ　君の好みし歌にてありし

×

興來れば　リンゴの實る故郷の話聞せし君なりしかな

×

霧深き山下町の暗闇に　握りし君の　腕の冷たさ

×

横濱の外人基地の丘に來て　語りし事も　今ははかなし

×

畫毎に工場の裏の河岸に　語りし事も　樂しみなりし

×

大またにプラットホームの　人混の中より出でて　手をふりしかな

×

笑う時八重齒が一つ見えた　りき　それのみ今は　忘れずてあり

×

小名浜港漁獲高（廿七在現日）

はも	三三〇貫
えび	六〇〇貫
いか	二二〇貫
ぎす	一二〇貫
ちぼ	二三〇貫
びび	二〇〇貫
かすべ	一〇〇貫
平め	五〇〇貫
まこ	五〇〇貫
石田	三八〇貫
たひ	六〇〇貫
たこ	一八〇貫

以上三九七〇貫であつて濱相場は相變らず高値を示して居る、鰹三百七十五円、たひ五百円、まこ四百五十円、えび四百円と云ふ値段と示し居る

拾い讀み

義俠に富み金離れの良いので定評のある映畫館世界館主鈴木寅次郎さんは町内の寄附金の場合でも全町内の寄附金總額の半額を投げ出すのが通例で各方面からその德を稱えられている、平市戰災復興寶クジはその町内である南白銀町に八五〇枚割り當てがありけつ局一五八枚賣れ殘つて町内の世話役が困つていた處、鈴木さんは大枚四千八百四十円をポンと投げ出し殘り全部を引受けたが先般賣り出された縣のスポーツ寶クジの場合も町内割り當て殘り一

人事一言

△農林省栗木技官は四日八莖地區開耕建設工事視察のため來郡する

△縣農地常任委員木田守之助縣議一行五名と縣耕地課長並技師は五、六、七の三日間入遠野、上遠野、平市の災害地視察のため來平する

△平土地改良事務所佐藤二郎事務主任は二日事務主任會議に出席のため同日縣廳に出張し四日歸平の豫定

天氣

（廿九日十一時半現在）

廿九日の晩は北西の風大体良い天氣ですが、一時曇り惡くすると小雨のばらつく事もありませう、卅日は朝の内北の風、割合い雲が多いですが日中は秋晴れの良い天氣となりませう、明日は大体良い天氣の見込みです、海上は多少風波がありますがたいした事はありません

JOCR ローカル時間

30日

前7時15分あさ道通信（9）＝サツマ芋の收獲と貯藏＝縣農事試驗場技師熊田一雄　後10時10分學校放送（全學年の時間）＝合唱「思い出」他＝西白河郡矢吹小學校兒童　後6時30分レコードコンサート

編集後記

とるに足らぬ女なりしも初戀の感傷をもて胸におさめぬ

×

何時か亦逢ふことあらばその時は　笑みて話さむ十とせ前のこと（安里待巣）

二〇枚を引受けたもので何れにしても市の寶クジ大口引受けの筆頭と見られている、そこで一五八枚の當りクジを調べた處六等（十円）が六一枚、五等（二十円）が四枚、金額にして合計七百三十圓也で差引四千百十円を市に奉納した事になつた詳けである

サンキュー　三九　三休さん！
サンキュー　ありがとう！
（食料品　雜貨　藥品）
佐々木商店
平市鍛冶町　電話503番（呼）

定評有る
大塚の　紳士靴
婦人靴
最新型……豐富
競技用靴　野球靴　ラクビー靴
御注文……迅速
平驛前通り
大塚運動具店
電話七十七番

きつと御氣に召す!!
當店獨特のドライクリーニング
1950年のニユールツク
金屬型が入荷しました
秋の中折帽子のクリーニング
超スピートで仕上ます
合名會社白榮舍ランドリー
電話661番

牛豚肉
愈々肉食の季節が參りました!!
第一線屋　電五三九
第二線屋　電七九四
本場自慢

撲秋場所優勝候補え

相　郷土出身「時津山」力闘

大阪相撲秋場所は十七日に阿部野假設國技館に開幕、以來十一日を經て優勝候補の決定を見ている十一勝一敗で照國と同樣に優勝候補の隨一である、時津山は平市二丁目三十二萬屋綿店（現日本生命社）の故藥谷李平さんを祖父に長男茂十の一人息子である、彼に肉親の緣が薄く現在では盛岡市に伯母を有するだけである父茂十は往年三段目で活躍して磐城羽黑の弟子に良い力士は出ないと云はれてゐたが相撲界からは驚異の眼で見られている

今場所は西の前頭の最後尾にいるが六日の取組で二瀬川に押倒された以外に黑星なく優優候補の第一におされてゐる、平市にとつては二度目の前頭で明治四十二年頃市内材木町出身の平石以來三十余年振りの事である、友人である生家の隣り合い鶴屋山と稱した、また父の實弟は水石清五郎と云い十両にまでのぼりながら前頭になれなかつた、この叔父の世話で昭和十六年頃十六才の若さで立波部屋に身を投じ爾來平—小もん龍時津波と稱してたが今場所より時津山に改名、出身地も緣のない西宮をすて平とした、本名を仁一、廿五才で身長五尺九寸、体重二十八貫の体軀を有して羽黑山の一番弟子である

旅館の荻野秀雄氏は次の如く語つた羽黑山の弟子であるこの仁一は現在の勝星を見ると近年中は小結になる望みは難くない、現在は化粧まわしもない始末でこの秋場所の出來如何によつて後援會をげつ成したいとも考えているが現在の處市民に顏なじみがないので場所の終り次第平市民に挨拶させたいと考えている

國勢調査に就て

いつはりない申告を

10月1日

十月一日午前零時を期し全國一齊に實施する國勢調査は先に各家庭に配布した趣旨書の家族氏名記入を國勢調査員が一日から三日迄に各世帶を個別に訪問して連記調査票に轉記し調査もれや二重調査並び記入の誤謬を防ぐ事になつた、今度の國勢調査の記入要領は十月一日午前零時後に生れた者やその前に死んだ者は記入せず世帶主との續柄では孫といふ言葉を使はずに長男とか次男とか記入する外仕事をもつているのに調査期間中に仕事をしなかつた者とか無職とか現在探して居た者とかも必要で、在學生にあつては在學年數を記入するが一年未滿は切り捨てる、特に引揚者の問題は今回が最初で四國、九州、北海道を除く地域より引揚した者を言い終戰前海外居留民であつたかどうかも記入する外婚姻したことのある女子については結婚年數の合計と初婚か否かの別と子供の數も入つて居り死産は含れてはいないが既に死んだ者は子供の數に含まれて記入する、この國勢調査は統計法による指定統計であつて調査票に記入した事によつてその内容は一切秘密を守らする事がないので申告者はいつはりなく調査員に正常な發表をされるやう市役所では要望している、なほ國勢調査の調査員は同時に附帶調査として原爆當時廣島長崎に居住して居た者の現在居住狀態調査並に福島縣獨自の依賴調査として海外在住の未引揚軍人及び一般邦人の調査も行う事になつている

職安事件の公判

次回十日に再開さる

昨報＝職安事件第一回公判午後は午前に引續き被告の起訴狀に對する認否を續行各被告とも起訴狀の内容については大半を否定、一たん被告の認否が終り裁判長の特別考慮により被告の補滿は爆發被告野崎に對して正釋明に入らうとしたところ、石川檢事から公判の迅速を期すために時間を制限してやつてほしいと申出があり、裁判長が一人五分間と限定した事から被告の不退場を要求するなど、一時公判廷が騷然となつたがけつ局被告代表一人によつて釋明することに裁判長も同意し、被告側から平、内郷ざい言い切れない次回に廻し各勞組とも異つた要求で交渉したのに一人では釋明出來ないからそんな事なら釋明しないとつゝばねたので裁判長は實證に入ることを宣言、高橋檢事から被告人の罪狀につき不退去の事實佐藤職安所長に暴行、公務執行の妨害をした事實など十三項目に亘つて實證證人として佐藤平職安所長ら十二名を申請、辯護人から起訴狀認否證人については現意、被告側から平、内郷ざい言い切れない次回に廻し各勞組とも異つた要求で交渉したのに一人では釋明出來ないからそんな事なら釋明しないとつゝばねたので裁判長は實證に入ることを宣言、高橋檢事から被告人の罪狀につき不退去の事實佐藤職安所長に暴行、公務執行の妨害をした事實など

（寫眞は公判廷立つは長岡被告）

町開發運動經過報告會

小名濱町ビニロン工場誘致運動經濟報告會は廿七日午後一時から各區長、組長、團体幹部の參集をもとめ第一小校講堂に開いた

水野町長の挨拶に次いで日素工場横井技師のビニロン生産工程に就ての説明あり原料の石灰石、石炭その他の藥品等原料を數字的に詳説があつて小野工場誘致委員から委員會結成以來關係筋えの陳情、調査の經過を報告、立花港灣對策委員長から港灣修築豫算問題に運動を繼續中なることを報告散會した

郡下八月中煙草賣上高

專賣公社平出張所管内八月

小名濱町ビニロン工場誘致中の煙草賣上げ成積は月割富目標五千万円に對して四百万円を下廻る四千六百廿四万八千円となつているがそれでも四月以降の賣上額四月三千七十七万円、五月四千三百四十三万円、六月三千八百万圓、七月四千七百七十万円から見て最高の賣上げをみせ郡山地方局管内十五地區の内七位を示めしている、各煙草の消費狀態はゴールデンバット一千三百九十九万本を最高に新生五百九十二萬本、光九十八万本、いこい六十三万本ピース十三万本、朝日十七万本、みのり十二万個、桔梗七万個、桃山三千本、日光一万本で計二千八百万本なほ郡山地方局の總賣上は

この兒棄てるべきか

終戰直後の悲慘な滿洲開拓團の樣相を描いた戰爭犠牲者の手記は涙なしには讀まれない、其の一つに足手まといの幼兒を河岸に棄てる場面がある、背後にせまつたソ聯戰車の急追におびえた一團のリーダーが命が惜しかつたら足手まといの小さい子供は置いて逃げてくれと命令する、母親達は涙ながらに幼兒を河岸に寢かせて逃亡者の群を追つて行く、まことに胸せまる情景である、そのうち幾人かの母親は子と運命を共にした事であろうが、亦幾人かは子を殘して逃亡した、こう云うさし迫つたギリギリの運命の前には平素の教養も理性も無意味のようである、ただ動物的に、我が子を棄てて自分の生命を守り續けた幾人かの母親があつたとは、子供の數に含まれて記入する事はない、然しギリギリの運命に置かれたという點は開拓團の母親の心の中にはどれだけの違いがあろう、追いつめる貧苦と追擊して來る戰車えの恐怖とどれ程違おう、あるものは時間的差だけである、

雲井龍雄のこの兒棄てざればこの身飢ゆ、この身飢ゆの京城進出によつて一應國民から遠ざかつたようである、然し貧苦による悲劇は絶滅する處か增大する恐れがある、この悲劇を絶滅させる力は優れた政治以外にはないであろう　（K）

女を打てである

一頃一家心中が多かつた頃まだ生死の價値も知らない幼兒を道連れにすることの可否が喧ましく論じられた事があつた、社會評論家や識者と呼ばれる人達の意見の多くは例え我が子と謂ども一個の人格をもつた人間である以上これを殺すのは罪惡であると非難した、生のなげきはまだ捨い手を期待する心の餘ゆうがある、この兒を棄てたならば死ぬ生を喜ぶ日も必ずあつたろうにというなげきも當らない事はない、然しギリギリの心はまさになんと表現出來よう、一家心中の母親に對して其の子を殺すことの罰を課す以上に母親自身の心の中は罰せられ苦しんでいたのである、このような母親の悲劇は戰爭とそして貧苦のもたらすものである戰爭に對する恐ふは國連軍の京城進出によつて一應國民から遠ざかつたようである、然し貧苦による悲劇は絶滅する處か增大する恐れがある、この悲劇を絶滅させる力は優れた政治以外にはないであろう　（K）

五小運動會に市長杯

舊飯野地區青年會では三十日午前十時から催す第五小學校の秋季運動會に參加し

教育關係懇談會

小名浜

小名濱町長並に町會議長、教育委員と以て組織されて居る小名濱教育懇談會は廿七日午後四時より第一小學校で開催した

貨車の割當決る

10月石炭輸送打合會で

東部石炭協會では廿八日午後一時から同會館會議室に於て水戸管理部吉田配車主任、資源廳加藤事務官、運輸省中尾事務官、外管内各罐長及び貨物主任、各炭鑛關係荷主を集め十月分貨車割當輸送打合せ會を開き計畫通り決定した、配車及び左の通り

川尾二二六トン、一三車、高萩四九九トン、二九車、南中郷五八一トン、三四車、大津港四五一トン、二六車、勿來五七一トン、三三車、植田二八一トン、一六車、湯本二二〇九トン、一二九車、綴二八九七トン、一六三車、赤井一七一トン、一〇車、小川郷四八トン、三車、久ノ濱二二トン、一車、廣野五一トン、三車、木戸一五〇トン、七車

二億一千八百廿二万円となつている

助産婦講習會

平保健所で

縣衛生部主催の助産婦再教育講習會は十月十六日から一週間平保健所で開催されるが同講習會は新法律に對應する助産婦の資質、技術の向上を目的とするもので講師は福島醫大教授九嶋勝司氏、縣助産婦係佐々木タケ女史ほか六名となつている

羽賀縣技師一行錦町え

縣衛生部羽賀技師一行三名は錦町の集團赤痢の發生を見た發生原因と見られる水質、調水査、汚物、汚水溝等を調査を行うため廿八日現地に出張した

小名浜通信

小名濱自由勞組の誕生した直後、濱通勞働組合が亦誕生した、前者は長瀬大三君である、後者は小野幸次郎君である、両者は嘗つて町議罷免問題では握手して、其先驅をなし善戰したが、縣選擧管理委員會に於て罷免運動が認められないで敗訴の裁決があつたが、其の後罷免組は高裁に向つて縣管理委員會を相手取つて提訴中だと聞く、然るに今日は東西に別れて勞組の爲めにしのぎを削らうとつけ起したが誕生二週間の短期間で後者の組合が解消した事を聞いた、ひよう然として生れ、ひよう然として消ゆこれが小野幸次郎の現在である、利によつて集るものは利に依つて別ると、これ彼等爲めに設けたる金言ではあるまいか

×

小名濱町立中學校背面校庭にテニスコートが新設された、そして日曜とか休日には必らず現はるゝメンバーには高野常陽銀行支店長、黑澤務、町立中學校の鈴木校長、町議坪内君、元教官たりし木田谷平君などが顏を出さねば興が乘らないと云ふ、後廻りだと聞いた時其年輩は四十以上位迄の中老連の活動を目擊するが元來青少年では中間入りが不可能とされるのが疑問が湧いて來る、東西に別れて球を打つ、上々下々、西に飛び東にはねる、其活躍ぶりは中老年輩では過激であるまいかと思はざるを得ない活動に對し高野支店長は是れがやめられない興味深々たるものだと、其元氣や敬すべく賀すべきだ、好漢幸ひに邦家の爲めに健在なれ

×

愈々食糧公團、民營化に進む第一歩として廿五日を期し公團事務の公務を解き共同企業態と相變りして出發するに至つた、其牧入は扱つた數量が基本となり場所に依つては從來の二分の一にも當らない場合も生れ來るだらうと言はれて居るが之れでは生活に不安を與ふるけつ果となつて主食保護の上にも賞めた策ではないと叫ぶものも出て來て居る關係當局たるものがどう之れをさばくかは目前にぶらさがつた緊急事の問題であらう

運動會

川前村小、中學校の秋季運動會は八日午前九時より同校で行う

喜事録

婚姻　廿七日平市田町石川春町遠藤敦子（三三）さん△廿二日平市上平窪稻本忠夫（二六）氏大野村駒込高木貞子（三一）さん

出生　廿四日平市大字中鹽地引占義氏三男幹夫さん△廿日同立町橋二郎氏四男久二夫さん

死亡　廿七日平市舊城跡堀越浩三（二四）△廿一日平市中鹽矢吹佳紀（三）

10月1日—7日
（映上週次）
松竹が久々に放つ股旅時代劇巨編
男ごゝろに涙がにじむ
利根の朝霧別れ唄
すてる故郷に未練はないが風に一の足三度笠
風雲金比羅山
監督　大曾根辰夫
キャスト　阪東妻三郎　山田五十鈴　黑川彌太郎　清水將夫　原駒子
平館

うどん・きそば・生壽司・ランチ等あぢよくもりよく
値もやすい
赤飯でかんたんなお食事
秋田銘酒『高清水』キリンビール　サイダー
地下大衆食堂
（加工外食券）
◇遠近出前迅速◇
平驛前　電話656番

皆様の魚店
磐城名産
鰹節
塩辛
丸市屋
平市四丁目
電話二一三番

秋冬の注文洋服
男子の服裝を「スッキリ」と造るのには？　先づ何よりも「トップスタイル」を最も洗練された技術と永年の專門知識をもつて信賴出來る當店を御選び下さい!!
平市三丁目角
佐川洋服店
電話四一八番